

第6回 事業報告書

(平成29年1月1日から平成29年12月31日まで)

I 事業活動

今年度も公益目的事業として、つぎの事業に取り組みました。ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする「産業振興事業」であり、もうひとつは、重要文化財旧松本家住宅の見学を通じて建築文化や歴史を学ぶ場、および文化財建物を文化活動の場として活用することによる文化振興を目的とした「文化財活用事業」です。

また、昨年同様、積極的に庭園環境の整備や館内設備の補修および更新に取り組みました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も行いました。

1 産業振興事業

(1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ570名程の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

当倶楽部が主催した講演会は、つぎのとおりです。

第1回 平成29年 1月23日(月)

「トランプ新政権と日米関係」

同志社大学法学部 教授 村田 晃嗣氏

第2回 平成29年 2月 6日(月)

「最近の経済情勢と平成29年度予算について」

福岡財務支局 支局長 森山 茂樹氏

第3回 平成29年 2月15日(水)

「オレが村田だ! パ・リーグ元審判部長が語る日本プロ野球史」

(話し手) パ・リーグ元審判部長 村田 康一氏

(聞き手) 西日本新聞社運動部特別編集委員 森本 博樹氏

第4回 平成29年 3月16日(木)

「リスクマネジメントの実践

～最近の不幸事から見るリスク対策のポイント～」

(株) エス・ピー・ネットワーク 西日本事業部執行役員 飛内 尚正氏

- 第5回 平成29年 4月17日(月)
「住みよいまち・北九州市！！」
北九州市長 北橋 健治氏
- 第6回 平成29年 5月15日(月)
「共和国（北朝鮮）を訪ねて」
元当倶楽部会員・現電電同友会北九州支部長 西本 寛治氏
- 第7回 平成29年 6月 1日(木)
「北九州地域の発展について」
福岡県知事 小川 洋氏
- 第8回 平成29年 7月26日(水)
「日本国内における ODA 事業～九州への貢献を目指して～」
独立行政法人国際協力機構 JICA 九州 所長 植村 吏香氏
- 第9回 平成29年 8月 2日(水)
「グローバル化する世界：新たな時代にチャンスをつかむ日本」
野村ホールディングスグループ SCO 池上 浩一氏
- 第10回 平成29年 9月29日(金)
「ヒューマンエラー防止の心理学」
公立大学法人北九州市立大学 学長 松尾 太加志氏
- 第11回 平成29年11月16日(木)
「九州のさらなる発展に向けて」
九州経済産業局 局長 高橋 直人氏
- 第12回 平成29年12月11日(月)
「内外経済情勢と北九州経済の現状と課題」
日本銀行 北九州支店長 緒方 公一氏

その他共催・後援事業はつぎのとおりです。

- 平成29年 2月 7日(火)
「存亡の危機を乗り越え、規制突破を糧に成長」
ヤマトホールディングス(株) 特別顧問 有富 慶二氏
- 平成29年 2月27日(月)
「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」
(公財)九州経済調査協会 調査研究部主任研究員 大谷 友男氏
- 平成29年 3月17日(金)
「インバウンド政策と北九州空港の未来」
北九州エアターミナル(株) 代表取締役社長 片山 憲一氏

平成29年 4月26日(水)

「北九州は離陸直前にある」

(公財)アジア成長研究所 所長 八田 達夫氏

平成29年 6月16日(金)

「熊本地震後の景気動向と浮き彫りとなった課題について」

日本銀行熊本支店 支店長 竹内 淳一郎氏

平成29年 7月28日(金)

「地方創生セミナー～実践事例から学ぶ新たな展開～」

内閣府特命担当大臣 山本 幸三氏

平成29年12月 1日(金)

「活力ある九州づくり～JR九州グループのチャレンジ～」

九州旅客鉄道(株) 相談役(前会長) 石原 進氏

(2) 交流会

① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウムの会”を11月に開催いたしました。旬な食材を使った和洋折衷料理を楽しむとともに、倶楽部の現況報告を行いました。

② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として、つぎのとおり開催し、福岡県知事・北九州市長ほか多数の参加があり情報交換・懇親の場として活用いただきました。

1月5日 新年賀詞交歓会

4月17日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

6月1日 福岡県知事特別講演会ならびに交流会

10月11日 秋季懇親会

③ 行政・経済団体等との交流

行政(九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など)、友好諸団体(北九州商工会議所・(公財)北九州国際技術協力協会・(公財)北九州活性化協議会・(公社)北九州貿易協会、(公財)アジア成長研究所・(公財)北九州国際交流協会・福岡経済同友会など)と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動など、地域の発展と国際友好親善に努めました。

2 文化財活用事業

明治45年(1912)年に洋館が竣工し、昭和47年(1972)年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、公開は特別公開日のみとしています。今年度の特別公開日は、4月16日および10月21日の2日間開催し、合わせて2,000名近くの

入場者がありました。

なお、建築専門家および建築に関心のある団体や学校からの社会見学は、事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に館内案内を行っており、重要文化財に直接触れることで文化財の意義・価値を認識するとともに、文化財保護意識を高めていただく機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との文化交流では、音楽・茶道・華道・書画等や音楽会・作品発表会などに会場を提供し、文化向上に努めました。特別公開日には、ミニコンサートや茶道体験・華道団体の作品発表会の場として、出展者ならびに多くの来館者に好評を博しています。

3 食堂運営事業

収益の柱である婚礼は前年並みの件数を受注できたものの、婚礼参加者人数の減少による単価ダウンが影響しました。また、一般会食は利用件数・人数ともに増加しましたが、映画・ドラマ等の撮影による部屋代収入が減少し、当事業の収入は前期を下回る結果となりました。当事業の収入は344,321千円（前年比23,364千円減）、支出は328,710千円（前年比11,747千円減）となりましたが、経常利益は15,610千円（昨年比11,616千円減）の黒字を計上することができました。

なお、これらに、産業振興事業・文化財活用事業および法人会計の収支を加えた全体の収支は、収入383,124千円（前年比23,039千円減）、支出378,357千円（前年比13,155千円減）となり、差引4,766千円（前年比9,883千円減）の経常利益となりました。

II 会務の概況

1 定時社員総会

平成29年2月24日12時00分から当倶楽部で第5回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第5期(平成28年1月1日から12月31日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第5期(平成28年1月1日から12月31日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事3名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

2 理事会・委員会

平成29年度中に開催された理事会・委員会はつぎのとおりです。

理事会 3回 監事会 1回 役員懇談会 4回

経済調査委員会 1回 財務委員会 1回 総務委員会 2回 交流委員会 1回

3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	191社 (251人)	7社 (8人)	2社 (5人)	196社 (254人)	+5社 (+3人)
個人会員	7人	0人	0人	7人	0人
客員	7人	0人	0人	7人	0人

4 役員状況(平成30年2月23日現在)

理事長(代表理事)	利島康司
副理事長	佐藤直樹
	同 伊倉信彦
	同 張本邦雄
常任理事	久富雅史
理事	高橋正幸
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 古野英樹
	同 廣渡健
	同 山口幸之助
	同 早川陽一
	同 自見榮祐
	同 二橋岩雄
	同 庄山和利
	同 荒井孝文
	同 芳賀晟壽
	同 渡部晴夫
	同 竹田祐幸
	同 山本雄造
監事	中山岳志
	同 吉戒孝
	同 三島正一
	同 柏木修